レイヤ 2 データセンター相互接続の設定

ここでは、仮想ポートチャネル（vPC）を使用したレイヤ 2 データセンター相互接続（DCI）の設定例を示します。

- 概要，1 ページ
- レイヤ 2 データセンター相互接続の例，1 ページ

概要

データセンター相互接続（DCI）の目的は、異なるデータセンター間で特定の VLAN を拡張することです。これにより、遠く離れた場所にあるサーバとネットワーク アタッチド ストレージ（NAS）デバイスのレイヤ 2 隣接関係が提供されます。

vPC は、2 つのサイト（DCI vPC 全体にわたるブリッジ プロトコル データ ユニット（BPDU）なし）間の STP 分離というメリットを提供します。これは、データセンター間に冗長リンクが提供され、データセンターの停止がリモート データセンターに伝搬しないことを意味します。

（注） vPC は最大 2 つのデータセンターを相互接続するために使用できます。

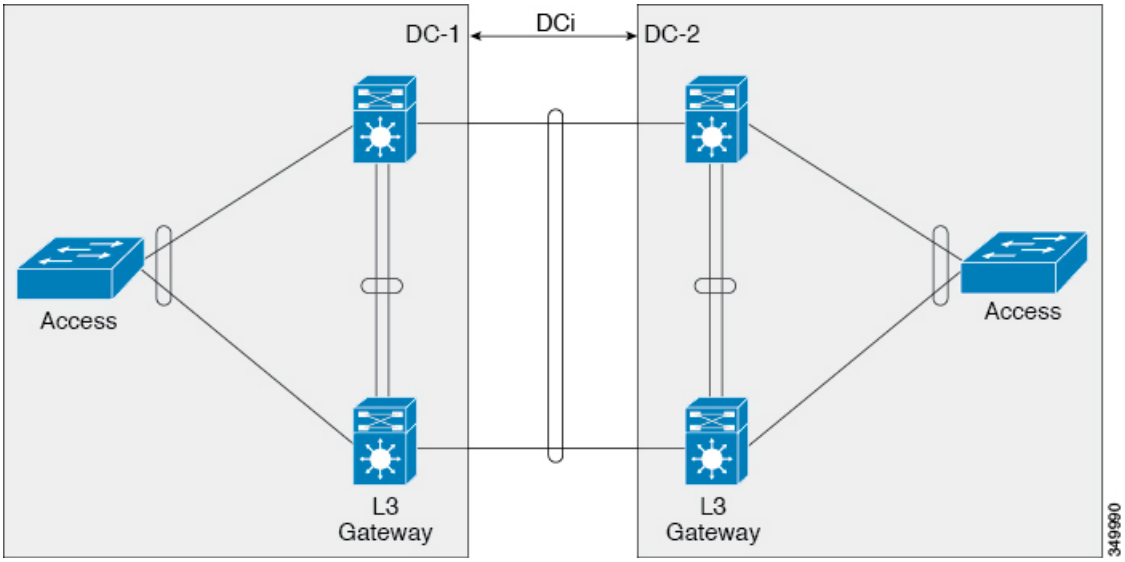
レイヤ 2 データセンター相互接続の例

次に、vPC を使用したレイヤ 2 データセンター相互接続（DCI）の設定例を示します。この例では、First Hop Redundancy Protocol（FHRP）を分離できます。

（注） vPC と Hot Standby Routing Protocol（HSRP）はすでに設定されています。

（注） DCI として機能する Link Aggregation Control Protocol（LACP）を vPC リンク で使用する必要があります。

図 *1*：デュアル レイヤ *2*/レイヤ *3* のポッド相互接続



この例では、レイヤ 3（L3）ゲートウェイが同じ vPC ペアで設定されており、DCI として機能します。Hot Standby Router Protocol（HSRP）を分離するために、DCI ポート チャネルでポート アクセス コントロール リスト（PACL）を設定し、DCI を通過する VLAN に関してスイッチ仮想インターフェイス（SVI）で HSRP Gratuitous Address Resolution Protocol（ARP）（GARP）を無効にする必要があります。

```
ip access-list DENY_HSRP_IP
  10 deny udp any 224.0.0.2/32 eq 1985
  20 deny udp any 224.0.0.102/32 eq 1985
  30 permit ip any any

interface <DCI-Port-Channel>
  ip port access-group DENY_HSRP_IP in

interface Vlan <x>
  no ip arp gratuitous hsrp duplicate
```